

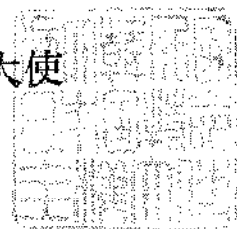
政 第 788 号

昭和 平成 3 年 4 月 23 日

外務大臣 殿

在 大 韓 民 国

川島 臨 時 代 理 大 使



件 名

在韓被爆者問題（韓赤の拠出金報告書）

引用文・電信

主管課（文書課外）

付 番 号

昭和 12 月 3 日付 往信 政 第 4356 号

ア 北

今般、大韓赤十字社より「在韓被爆者支援のための日本国政府拠出金の使用に関するガイドライン」に基づき使用報告書を提出越したところ、（同報告書を）別添送付申し上げる。

なお、先方は、繰越金は、本件報告を日本の会計年度に含めて作成した結果生じたものであり、韓国の本会計年度内に全額使用されるものである旨付言するところであった。

本信送付先：

在 韓 赤 十 字 社

本信等送付先：

在 韓 赤 十 字 社

省内等配布希望先：

在 韓 赤 十 字 社

GA-12-1

在外公館

大韓赤十字社 대한적십자사

(755 - 9301)

韓赤保 91 - 1042

1991. 4. 18

受 信 駐大韓民國 日本國 柳 健一 大使 貴下

題 目 日本國政府 支援 原爆被害者 診療事業 實績 通報

在韓 原爆被害者를 爲하여 支援한 貴國의 支援金을 資金使用에 關한
指針에 따라 當社가 原爆被害者 診療 및 健康診斷을 實施하고 그 實績과
支援金 精算內容을 次の通り 通報합니다.

1. 診療支援期間 : 1990. 4. 1 - 1991. 3. 31 (12個月間)

2. 執行(精算)內譯 :

區 分	日本 政府 支援 金額	執行 (精算) 內譯		繰越 殘額 (移越額)
		診療支援人員數	支 援 金 額	
診療費支援	繰越 89年度 移越額 ₩157,336,203 90年度 支援額 ₩228,956,321 (¥42,000,000)	8,028名	₩257,073,780	₩111,067,744
健康診斷費 支援		1,516名	₩18,151,000	
計	₩386,292,524	9,544名	₩275,224,780	₩111,067,744

3. 執行明細書 : 별첨. (3) 끝.

大韓赤十字社

總 裁 金 相



及

原爆被害者診療費 健康診断費 執行明細書

(1990. 4. 1 - 1991. 3. 31)

日 字	區分	計		診 療		健 康 診 斷	
		人員(名)	金 額(W)	人員	金 額	人員	金 額
1990.	4. 7	582	16,303,840	471	14,971,840	111	1,332,000
	5. 4	1,145	23,989,010	532	16,674,010	613	7,315,000
	6. 7	812	26,742,710	535	23,418,710	277	3,324,000
	7. 11	684	20,270,400	562	18,806,400	122	1,464,000
	7. 31	805	21,909,820	738	21,105,820	67	804,000
	9. 5	924	19,998,100	784	18,318,100	140	1,680,000
	11. 1	937	26,282,580	830	24,998,580	107	1,284,000
	11. 26	783	25,808,590	712	24,956,590	71	852,000
	12. 10	752	25,376,470	752	25,376,470	-	-
	12. 21	592	20,824,660	584	20,728,660	8	96,000
1991.	2. 22	805	23,392,710	805	23,392,710	-	-
	3. 19	723	24,325,890	723	24,325,890	-	-
	計	9,544	275,224,780	8,028	257,073,780	1,516	18,151,000